

株主のみなさまへ

2016年12月期決算報告

証券コード：2580
2017年3月発行

コカ・コーラ・イースト・ジャパン株式会社

2016年12月期の活動概要

2013年7月1日に関東・東海地区コカ・コーラボトラー4社の統合により誕生し、2015年4月1日には仙台コカ・コーラボトリング株式会社(以下、「仙台社」といいます。)を事業統合した当社は、「成長に向けたOne+ロードマップ」の戦略に基づき、人材、事業構造やプロセス等の様々な事業変革を進めてまいりました。

当期においては、子会社であるコカ・コーラ・イースト・ジャパンプログラフ株式会社を2016年10月1日付で吸収合併いたしました。また、2016年9月30日にコカ・コーラウエスト株式会社との間で、2017年4月1日を効力発生日として株式交換および吸収分割を併用することによる経営統合に合意いたしました。

販売活動につきましては、「味わおう。はじけるおいしさを。」という日本独自のコピーを添えた全世界共通の「Taste the feeling」キャンペーンの一環として、2016年リオデジャネイロオリンピック開催に合わせ、「『ゴールドな瞬間』を、「コカ・コーラ」で味わおう。」をコンセプトにした「コカ・コーラサマーキャンペーン2016」を最盛期の需要をとらえるため展開いたしました。

また、昨年、消費者の皆様から大変好調を得た、自動販売機の加温温度を2度高い設定にして加温製品をよりおいしく提供する「自販機+2℃キャンペーン」を冬の定番と位置づけて展開するとともに、「コカ・コーラウィンターキャンペーン」として、ラベルがリボンに変わるリボンボトルを「コカ・コーラ」「コカ・コーラゼロ」に導入し、クリスマス、年末年始の需要を喚起いたしました。

自動販売機チャンネルでは、専用商品の導入やスマートフォンアプ

リケーション「Coke On」と「スマホ自販機」によるポイントプログラムの展開等を実施し、さらに、不採算機の撤去や移設、収益性の高いインドア(屋内設置)ロケーション開拓の注力、コスト削減の推進等、重要な自動販売機チャンネルの収益性改善に向けた取り組みに注力いたしました。

これらの販売活動や新製品の好調に加え、仙台社の事業統合の影響等により、当社においては、販売数量(BAPC:ボトラー社実績数)は、前期比4%増(以下、増減率はすべて対前期比)となりました。仙台社の影響を除いた販売数量(前連結会計年度期首から仙台社を統合していたものとして当期実績と比較)は2%増となりました。

販売チャンネル別の販売数量は、ドラッグストア・量販店チャンネルは15%増、コンビニエンスストア(CVS)チャンネルは5%増、スーパーマーケットチャンネルは4%増、飲食店・ホテル等の料飲チャンネルは3%増となりましたが、自動販売機チャンネルは1%減となりました。

製品カテゴリー別の販売数量は、炭酸飲料が「コカ・コーラ」「コカ・コーラゼロ」「ファンタ」等の成長もあり3%増となりました。無糖茶製品は4%増、水は「い・ろ・は・す」が新製品の効果もあり引き続き好調に推移し、また、「森の水だより」の増加もあり、11%増となりました。コーヒーはカスタマー限定製品や「ジョージアザ・プレミアム」シリーズが引き続き好調に推移したこと等により6%増、果汁飲料は2%増となりました。スポーツドリンクは当カテゴリー市場の成長鈍化もあり、5%減となりました。なお、販売チャンネル別、製品カテゴリー別状況とも、仙台社の事業統合による増加が含まれています。

2017年12月期の見通し

次期については、利益成長への注力、投資と費用の最適化等の施策を継続してまいります。また、日本コカ・コーラ株式会社とのパートナーシップのもと、機能性、原材料、魅力的なパッケージの訴求等、高付加価値でプレミアム性のある製品の導入や販促活動を積極的に展開していく予定です。

「コカ・コーラ」では、特定保健用食品(トクホ)のコカ・コーラ「コカ・コーラプラス」を本年3月に新発売し、成長が続くトクホ分野を強化し

てまいります。また、「Taste the feeling」キャンペーンを継続するとともに、「赤は、おいしさのしるし」をキャッチフレーズとした新たなパッケージデザインを導入し、「コカ・コーラ」と炭酸飲料カテゴリーの活性化とさらなる成長を目指してまいります。さらに、1月30日には機能性表示食品の「からだ巡茶Advance」を発売開始しており、高付加価値・即時消費型の小容量パッケージ製品の販売を強化していくことで、価格・ミックス環境の改善を促し、収益性改善につなげてまいります。

2016年12月期の連結業績

売上高： **572,496** 百万円 (前期比 1.7% )
営業利益： **18,489** 百万円 (前期比 71.3% )

2017年12月期の連結業績予想

売上高： **580,400** 百万円 (前期比 1.3% )
営業利益： **20,000** 百万円 (前期比 8.1% )

※上記予想は当社の連結業績予想のみを含めております。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年12月31日現在	当期末 2016年12月31日現在
資産の部		
流動資産	127,343	114,688
固定資産	244,428	254,660
有形固定資産	210,318	220,702
無形固定資産	8,361	9,119
投資その他の資産	25,748	24,838
資産合計	371,771	369,348
負債の部		
流動負債	82,668	81,140
固定負債	58,156	54,572
負債合計	140,825	135,713
純資産の部		
株主資本	231,089	237,779
資本金	6,499	6,499
資本剰余金	157,313	157,323
利益剰余金	68,454	75,114
自己株式	△1,178	△1,158
その他の包括利益累計額	△564	△4,818
新株予約権	420	673
純資産合計	230,945	233,635
負債純資産合計	371,771	369,348

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2015年1月1日から 2015年12月31日まで	当期 2016年1月1日から 2016年12月31日まで
売上高	563,162	572,496
売上原価	302,087	299,604
売上総利益	261,075	272,892
販売費及び一般管理費	250,284	254,402
営業利益	10,791	18,489
営業外収益	1,368	1,289
営業外費用	1,748	1,856
経常利益	10,411	17,921
特別利益	1,175	260
特別損失	3,300	709
税金等調整前当期純利益	8,286	17,472
法人税、住民税及び事業税	1,956	6,287
法人税等調整額	975	466
法人税等合計	2,932	6,753
当期純利益	5,354	10,718
親会社株主に帰属する当期純利益	5,354	10,718

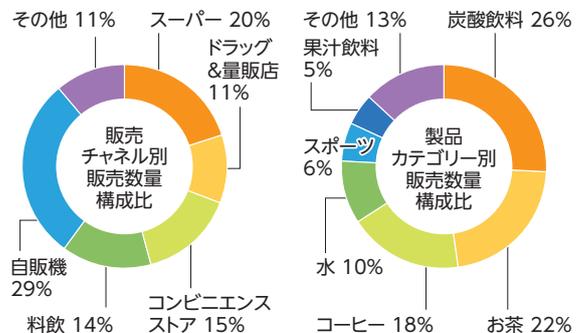
当期のポイント

連結貸借対照表

- 手元流動性の最適化による現金及び預金の減少、在庫削減の取り組みによる、商品及び製品等の減少により総資産は減少
- 多摩工場の敷地および建物の取得等に伴い長期借入金が増加した一方、買掛金、リース債務、短期借入金が増加し負債は減少

連結損益計算書

- 販売数量増や仙台社との事業統合により売上高は増加
- 順調なサプライチェーン改革のシナジー効果の獲得や販売数量の増加等、また人件費等の減少により販売費及び一般管理費の増加が抑制されたこと等があり、営業利益は大幅に増加



連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少や法人税等の支払等により収入減
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券等の売却及び償還により、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借り入れ等により支出減
- 上記要因により当期末の現金及び現金同等物は全体として減少

※増減は全て前期比

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2015年1月1日から 2015年12月31日まで	当期 2016年1月1日から 2016年12月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	39,576	32,707
投資活動による キャッシュ・フロー	△33,207	△32,959
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,276	△4,969
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△3,907	△5,221
現金及び現金同等物の 期首残高	24,971	21,573
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	509	—
現金及び現金同等物の 期末残高	21,573	16,352



新しいステージで変革を推進し成長をさらに加速 コカ・コーラボトラーズジャパン(株)(CCBJI)発足

コカ・コーラウエスト(株)と当社は、経営統合を行うことに合意し、2017年4月1日付で新会社「コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社」を発足いたします。本経営統合により、環境の変化やお客さま(消費者)や地域社会のニーズにこれまで以上に迅速に対応し、清涼飲料市場における競争力を高めてまいります。

CCBJIは日本のコカ・コーラシステムの成長をリードしてきたCCWとCCEJの実績を礎に、一貫性のある市場実行戦略に基づき、実行力・スピード・柔軟性をさらに高め、事業変革を進めてまいります。両社の強みを活かした営業活動の進化に加え、サプライチェーン分野のコスト競争力強化、業務プロセス変革、人材配置の最適化等により更なる成長を目指すとともに、良き企業市民として、地域に密着した事業活動と社会貢献活動にも引き続き注力することで、地域社会との共生・共栄を目指してまいります。

CCBJI会社概要 (2017年4月1日現在)

商号	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 (英文社名 Coca-Cola Bottlers Japan Inc.)
所在地	(本店) 福岡県福岡市 (本社) 東京都
代表者	代表取締役 吉松 民雄 代表取締役 ヴィカス・ティク
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部) 福岡証券取引所

役員

取締役(監査等委員である取締役を除く。)

代表取締役	吉松 民雄
代表取締役	ヴィカス・ティク
取締役	古賀 靖教
取締役	コステル・マンドレア
取締役	吉岡 浩(社外取締役)

監査等委員である取締役

取締役	田口 忠憲
取締役	三浦 善司(社外取締役)
取締役	イリアル・フィナン(社外取締役)
取締役	ジョン・マーフィー(社外取締役)

「コカ・コーラ」史上初のおいしいトクホが誕生!

「コカ・コーラ プラス」誕生

Point
1

「コカ・コーラ」史上初のおいしいトクホコーク
コカ・コーラ社が妥協せず長年かけて、日本のためだけに開発しました。

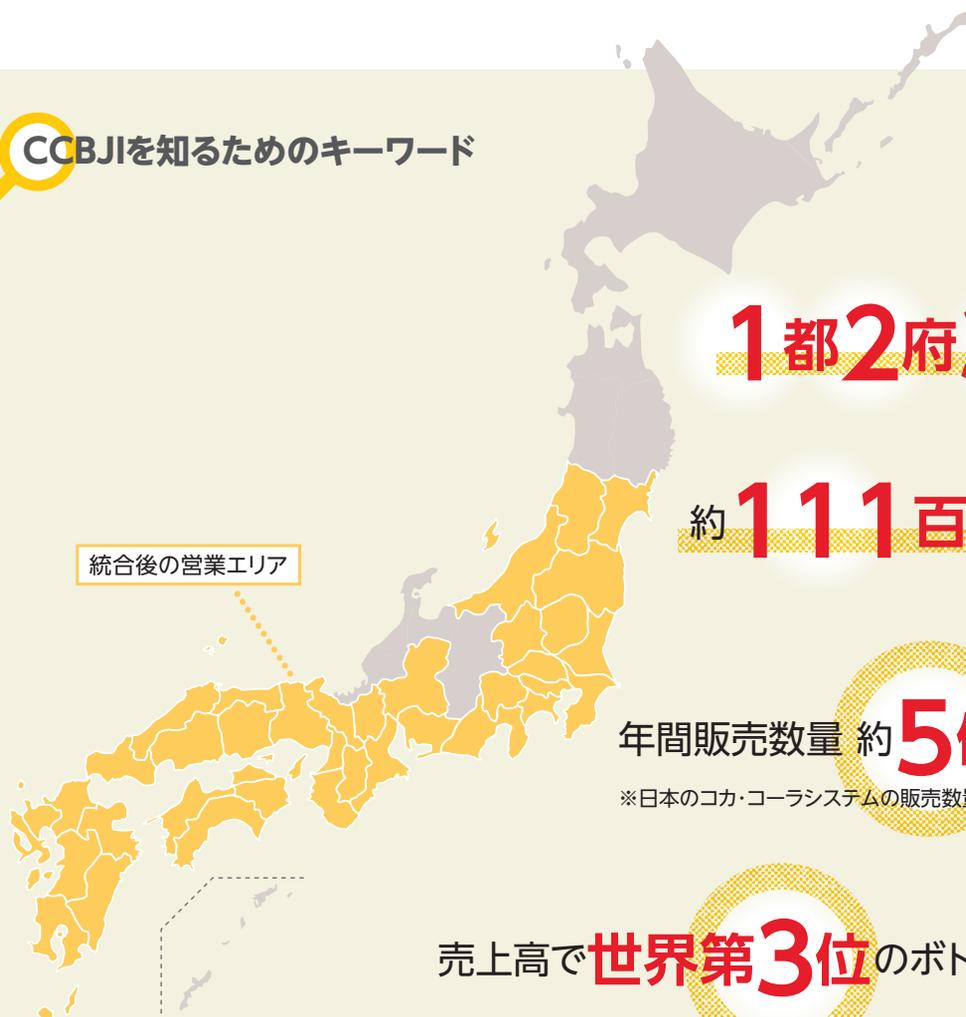
Point
2

食事から摂取した脂肪の吸収を抑えて
食後の血中中性脂肪の上昇を
おだやかにします





CCBJIを知るためのキーワード



1都2府35県の
営業エリア

約**111**百万人の
お客さま

年間販売数量 約**5億**ケース

※日本のコカ・コーラシステムの販売数量の9割に

売上高で**世界第3位**のボトラーに

コカ・コーラ プラスは、日本のお客さまのために開発された新製品で、食事から摂取した脂肪の吸収を抑え、食後の血中中性脂肪の上昇をおだやかにする関与成分(特定の保健の目的に資する栄養成分)の難消化性デキストリン(食物繊維)を配合した特定保健用食品で、世界No.1の飲料ブランド「コカ・コーラ」ならではのおいしさはそのままに、トクホの機能をプラスした新製品です。

健康意識が高く、おいしさへのこだわりが強い日本のお客さまにご満足いただけるようコカ・コーラ社が総力をあげて開発。期間限定製品以外で、日本市場をターゲットにした「コカ・コーラ」の新製品は、2017年に60周年を迎える日本の「コカ・コーラ」ビジネスの歴史においても初めてのこととなります。

インフォメーション

株式交換についての概要

2017年4月1日を効力発生日とするコカ・コーラウエスト社と当社の経営統合にあたり、コカ・コーラウエスト社を株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行います。2017年3月31日最終の当社の株主名簿に記載または記載された株主さまに対し、2017年4月1日に株式交換比率に応じた新会社（コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社）の株式が交付されます。

● 株式の交換比率 ●

当社の普通株式1株に対してコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社（コカ・コーラウエスト株式会社）の普通株式0.75株を割当て交付します。

〈例〉

当社株式
100株



コカ・コーラボトラーズジャパン株式
75株

● 単元未満株式・端数株式について ●

単元未満株式の取り扱いについて

本株式交換により、単元未満株式を保有することとなる株主さまにつきましては、コカ・コーラボトラーズジャパン社の単元未満株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。お手続き方法は、お取扱いの証券会社等（特別口座の株主さまは特別口座の口座管理機関）にご確認くださいませようお願いいたします。

※株式交換の効力発生後、2017年4月3日（月）から買取・買増制度のご利用が可能となります。

単元未満株式の 買取請求

〈例〉75株ご所有の場合

75株



コカ・コーラボトラーズジャパン社に
75株買取請求

75株



現金化



市場で売却できない75株をコカ・コーラボトラーズジャパン社に
買い取るようご請求いただくことができます。

単元未満株式の 買増請求

〈例〉75株ご所有の場合

75株

+

コカ・コーラボトラーズジャパン社に
25株買増請求

25株

=

単元株化

100株

市場で購入できない25株をコカ・コーラボトラーズジャパン社に
売り渡すようご請求いただくことができます。

1株に満たない端数の株式について

株式交換により、1株未満となった株式については、法定の手続によりその端数部分に応じた金額をお支払いすることとなり、端数部分の株式は割当てられません。

なお、実際のお支払いは、該当する株主さまに対し、5月中旬から下旬を目処として詳細についてご案内する予定です。

株式事務のお手続きに関して

住所変更、買取、買増請求、その他の株式に関するお手続きにつきましては下記へお問い合わせください。

- 旧コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
- 旧東京コカ・コーラボトリング(株) の株主さま
- 旧利根コカ・コーラボトリング(株)

証券口座で株式を保有している株主さま ▶ 口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま ▶ 特別口座の口座管理機関：**三菱UFJ信託銀行**
郵便物送付先およびお問い合わせ先
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (フリーダイヤル)

- 旧三国コカ・コーラボトリング(株)の株主さま

証券口座で株式を保有している株主さま ▶ 口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま ▶ 特別口座の口座管理機関：**三井住友信託銀行**
0120-782-031 (フリーダイヤル)

■株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
剰余金の配当の基準日	6月30日、12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います ※ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じたときには、 日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL http://investor-jp.ccej.co.jp/phoenix.zhtml?c=251855&p=irool-epnews

尚、未受領の配当金につきましては、**三井住友信託銀行**の本支店でお支払いいたします。

また、2017年5月20日以降、特別口座の口座管理機関は、三井住友信託銀行株式会社に集約されますので、5月20日以降は三井住友信託銀行株式会社の本支店でお手続きください。

■お知らせ

株主名簿管理人を2017年3月24日より三井住友信託銀行株式会社に変更することとなりました。株主さまからの株式に関するお手続きの「各種お問い合わせ先」並びに「郵便物送付先」は2017年3月24日より右記のとおり変更となりますのでお知らせいたします。

●2017年3月24日以降

各種お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話番号 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(受付時間 9:00~17:00
土、日、祝祭日を除く)



株主優待についてのご案内

2016年12月31日現在100株以上保有の株主のさまに、当社製品を4月上旬にご送付いたします。

100株以上500株未満保有の株主さま 当社製品12本
500株以上保有の株主様 当社製品24本



配送に関するお問い合わせ

株主優待事務局
TEL 0120-676-545 (フリーダイヤル)
※2017年6月末まで